

復興の進捗状況

【気仙沼・本吉地域版】

平成29年7月1日

宮城県

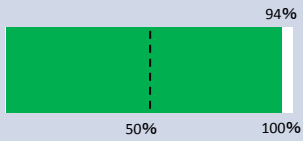
この『復興の進捗状況』は、宮城県が取り組む気仙沼・本吉地域の復旧・復興事業について、その進捗状況等を表したものです。

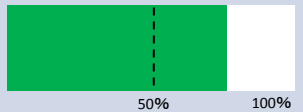
インフラ施設などの項目については、事業の進捗に応じて、事業の着手段階における進捗と事業完了段階における進捗の両方を記載しています。「着手」は、工事請負契約を締結したものを示し、「完成」は工事が完了したものを示しています。

公共土木施設災害復旧事業・インフラ関連

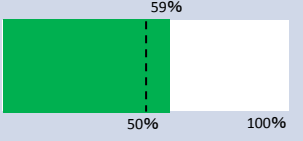
項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
道路・橋梁施設 (復旧工事) 被災箇所数: 道路 111か所 橋梁 12か所	着手箇所数: 121か所 (H29/6末現在) 完成箇所数: 99か所 (H29/6末現在)	着手 約98% 完成 約80%
河川施設 (復旧工事) 被災箇所数: 21か所	着手箇所数: 21か所 (H29/6末現在) 完成箇所数: 4か所 (H29/6末現在)	着手 100% 完成 約19%
海岸保全施設 (復旧工事) 被災箇所数: 32か所	着手箇所数: 31か所 (H29/6末現在) 完成箇所数: 8か所 (H29/6末現在)	着手 約97% 完成 約25%
港湾施設 (復旧工事) 被災箇所数: 11か所	着手箇所数: 11か所 (H29/6末現在) 完成箇所数: 4か所 (H29/6末現在)	着手 100% 完成 約36%

経済・商工関連

項目	(営業・稼働事業者数) ／(被災事業者数等)	復旧状況
被災商工業者の 営業状況		約94%
商工会議所・商工 会の被災会員数: 1,331会員(H23/3) うち廃業除く:935会員		営業継続会員数: 879会員 うち仮復旧中:199会員 (約21%) (H29/3現在)

項目	進捗率 (完了事業者数) ／(交付決定事業者数)	復旧状況
中小企業等 グループ補助金に よる支援状況		約75%
交付決定1,014事業者 (H29/3/31) ※当初交付決定-廃止		完了 756事業者 (H29/3/31)

観光関連

項目	(現在値) ／(震災前値)	回復状況
観光客入込数		約59%
H22年 362万人		H27年 215万人 (H27年観光統計概要)

雇用関連

公共職業安定所の有効求人倍率(原数値)

	県全体	気仙沼
H23年4月	0.39	0.19
H29年5月	1.42	1.80

雇用情勢(H29年5月)【資料出典:ハローワーク気仙沼】

有効求職者数※ 1,308人
 【震災直前(H23.2):1,778人】
 【ピーク時(H23.6):6,325人】
 ※有効求職者:震災による失業者、震災以外の理由による失業者、震災前からの失業者等

宮城県事業復興型雇用創出助成金による雇用創出の取組

期間の定めのない雇用等を行った民間事業主等への支援
 実績:804社,2,767人(延べ数・申請ベース)(H29年2月末)

農業関連

項目	(着手・完成面積等) ／(復旧対象面積等)	進捗率
農地 (除塩含む) 復旧対象面積: 約 1,130ha ※年度別復旧計画 H23 120ha H26 115ha H24 555ha H27 10ha H25 310ha H28～ 20ha		着手 約99% 着手面積: 約1,122ha(H29/5末)
農地海岸 対象箇所数: 19箇所		着手 100% 着手箇所数: 19か所 (H29/5末)
		完成 約79% 完成箇所数: 15か所(H29/5末)
項目	(復旧面積) ／(復旧対象面積)	復旧率
園芸 (園芸用ガラス・ ハウス復旧面積) 被害面積11.3haのうち 復旧対象面積:約7.4ha (H23/3/11)		100% 復旧面積: 7.4ha (H29/6末現在)

林業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
治山施設 (山地・海岸) 被災箇所数: 8か所		着手 100% 着手箇所数: 8か所(H29/6末現在)
		完成 約63% 完成箇所数: 5か所(H29/6末現在)
林道施設 被災箇所数: 9か所		着手 100% 着手箇所数: 9か所 (H29/6末現在)
		完成 100% 完成箇所数: 9か所(H29/6末現在)
項目	(被災後製品出荷額) ／(被災前製品出荷額)	復旧状況
木材加工工場 の製品出荷額 H22製品出荷額: 約3億円 (主要工場3社) ※震災で生産停止		約243% H28製品出荷額: 約7.3億円
	地域内主要工場 製材工場 : 3社	主要工場3社について、 全て復旧が完了し、操 業中

水産業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
漁港 (復旧工事) 被災箇所数: 558か所 ※被災漁港数60港の内、 60漁港に着手。 ※ 箇所数は県管理漁港と市町管理漁港の合計値		着手 約88% 着手箇所数: 493か所 (H29/6末現在) 完成 約75% 完成箇所数: 416か所 (H29/6末現在)
項目	(被災後数値) ／(被災前数値)	復旧状況
漁船 震災前の稼働漁船 隻数: 約3,600隻 (H23/3/11)		約100% 稼働隻数: 3,643隻 (H29/6末現在)
主要魚市場の 水揚状況 H22の水揚金額: 約240億円 (約11万ト) (H22/1～H22/12)		約90% H28の水揚金額: 約217億円 (約8.1万ト) (H28/1～H28/12) 主要魚市場 気仙沼, 南三陸

復興に向けた管内の動き

一般県道馬場只越線 只越バイパスが開通しました！

只越バイパスは、気仙沼市唐桑町只越地区に平成14年度より整備を進めてきましたが、震災による計画見直しなどを乗り越え、平成29年6月17日に開通いたしました。

この道路は、気仙沼市唐桑町中心部と、復興道路として整備が進められている三陸沿岸道路を結ぶ重要な路線であり、今回の開通により、安全で円滑な交通確保が図られることから、唐桑地域の復興はもとより、水産業や観光振興に大きく寄与することが期待されております。

当日は午前中に開通式を開催し、気仙沼市長をはじめ県議会議員、市議会議員、関係機関及び用地協力者など総勢約50名の方々に御出席いただき開通を祝しました。

なお、バイパスの一部区間は、暫定形状のため狭くなっておりますので安全に気をつけて走行していただきますようお願いいたします。

(気仙沼土木事務所)



【開通式典の様子】

杉ノ下・廻館工区で7年ぶりの作付！全10工区で営農再開！

管内では、農山漁村地域復興基盤総合整備事業（ほ場整備）により30～50アールに整備した農地が誕生しています。このうち杉ノ下工区（気仙沼地区）と廻館工区（南三陸地区）で、今年5月、震災から7年ぶりとなる作付が行われました。この2工区の作付で、管内10工区全てで営農が再開されました。

杉ノ下工区では、地域の担い手であるシーサイドファーム波路上（はじかみ）株式会社によるねぎの作付が開始されました。

今年度の作付面積は約3ヘクタール。農地に埋もれている礫の除去を地道に続けるなど、作付準備を進めてきました。

作付に必要なトラクターや定植機械は、復興交付金（被災地域農業復興総合支援事業）を活用して導入されており、今後も栽培管理用の機械や出荷調整施設が順次、整備される予定です。

廻館工区では、廻館営農組合により7年ぶりの田植えが行われ、新しく整備された約7ヘクタールの田んぼに「ひとめぼれ」や飼料用米の苗を作付しました。また、区画の一部で「田んぼアート」を企画・開催、ボランティア等の方々約50名と共に、赤米・黒米の苗を手植えして汗を流しました。稲の葉が色づく7月頃が見頃となります。

（気仙沼地方振興事務所農林振興部、南三陸支所）



【杉ノ下工区・南三陸ねぎの作付】



【定植作業の様子】



【大切に育てられたねぎ苗】



【廻館工区・田んぼアート】

南三陸町歌津総合支所が開庁しました

東日本大震災で被災した南三陸町歌津総合支所が平成29年6月5日、高台の「平成の森」内に移転・再建されました。支所は公民館及び保健センターを併設し、地上1階建、延床面積約1,300m²、エントランスから広がるロビーは「マチドマ」と名付けられた交流スペースで、町民の方たちが気軽に来られて、交流の場となるように設計されています。また、「マチドマ」を中心として、梁や天井内装などには町産木材（スギ）が視覚的に配置され、安らぎと温もりを感じるスペースとなっています。

なお、当建設は役場本庁舎とともに、公共建築物では国内初、環境配慮型の森林経営を促す国際認証（FSC）の「全体プロジェクト認証」が取得される見込みです。

山、里、海の豊かな資源循環を掲げる南三陸町の復興シンボルがまた一つ加わりました。

（気仙沼地方振興事務所農林振興部）



【開放感あふれる「マチドマ」の様子】

発行：宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部

電話：0226-24-2593 E-mail:kstssss@pref.miyagi.lg.jp

ホームページ：http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/

